

## 庁議記録（令和3年6月29日開催分）

### 《その他事項》

#### ◆令和4年度市政運営方針及び当初予算編成基本方針について

（企画部）

令和4年度の市政の運営方針は、市政経営計画に基づく市政運営とし、次のとおり行う。

- ①「住みごこち一番・可児～安心、元気、楽しいまち～の推進」の実現に向け、重点方針（4つの柱）とそれに基づく施策の選択と集中を行う
- ②「企業誘致」「シティプロモーション」を最重点施策とし、市の魅力発信、愛着を醸成する施策を展開する
- ③ウィズ/アフターコロナ時代を見据えた施策を展開する
- ④市制40周年を踏まえた事業を展開する

令和4年度当初予算編成の基本方針は、新型コロナウイルス感染症の影響から、引き続き税収入の増加が見込めないため、歳出を抑えた予算とし、次のとおり行う。

- ①一般財源の増額を伴う新規事業は行わない
- ②全ての事業を原則前年度予算額以下とする
- ③予算編成過程で事業の効果、必要性、効率性等を検証・反映させる予算編成連動型事業見直しを行う
- ④感染防止対策の強化と社会活動の両立を図るとともに、地域経済の速やかな回復を目指す

#### 【庁議での意見】

この1～2年の間に新型コロナウイルス感染症拡大を要因に中止している事業を再開させる場合は、必要性をきちんと検討すること。

若手の職員は過去にとらわれない発想があるので、意見を出してもらい、幹部職員はそれを受け止めること。

シティプロモーション、企業誘致が最重点であるが、可児市を色々な所でPRすることは、企業誘致にもつながっていく。いわゆる広報ではなく、それを越えたPRは各部でできることなので、そこを考慮して事業を行っていくこと。

## ◆令和2年度国勢調査結果について

(企画部)

令和2年実施の国勢調査の人口速報値を次のとおり説明するもの。

可児市	人口(人)	前回(H27)比	世帯数	前回(H27)比
令和2年	100,037 〔男 49,221 女 50,816 うち、外国籍市民 7,649〕	1,342 〔男 585 女 757〕	39,598	2,427

確定値は令和3年11月公表を予定している。

### 【庁議での意見】

可児市は外国籍市民の数が県内でも1番多い。それはこれからも増えていくと予想される。外国の文化を尊重するだけでなく、文化と日本のルールを切り分けて、尊重することは尊重しつつ、理解してもらい必要があることは理解してもらえようにならなければならない。国際交流協会と連携しながらその仕組みづくりを検討すること。

## ◆新型コロナワクチン一般接種について

(こども健康部)

7月中旬からの一般接種にあたり、次のとおり接種の方針を説明するもの。

令和4年度の市政の運営方針は、市政経営計画に基づく市政運営とし、次のとおり行う。

①一般接種では、次の方々を優先接種する。

- ・市内諸中学校の教職員等
- ・市内幼稚園・保育園、キッズクラブ等の教職員、保育士等
- ・市消防団員
- ・市職員のうち災害時避難所従事職員、ワクチン接種会場従事職員、通訳、相談業務担当者等

②外国籍市民に対しては、接種を受けやすいよう専用の会場（可児市保健センター、可児川苑、川合地区センター、下恵土地区センター）を用意し、派遣事業者等と協働し接種案内をする。

③基礎疾患有する11歳以下の方の保護者については、新型コロナワクチン推進室で相談を受け付ける。

なお、6月28日時点での65歳以上の方への接種率は、1回目80.8%、2回目39.3%となった。

### 【庁議での意見】

優先接種は、接種者ではなく、あくまで市民、子ども達のために行うという認識をもつこと。